

電気用防水シリコンジェル パワージェル



端子箱内の防水に…
低電圧の導体露出部を水から守る！



古河電工産業電線株式会社

防湿・防塵対策！

配電盤・制御盤箱内の開口部や
ケーブル引込部の封止に！



□ 特長

- ・解体可能でありながら抜群の密着力で防水します。
- ・シリコン材質で匂いもなくハロゲンフリーです。
- ・半透明の樹脂なので充電部の目視点検が可能です。

□ 性能

- ・防水：IP68相当（JCAA C 102 気密特性以上※¹）
- ・体積固有抵抗： $1 \times 10^{16} \Omega \cdot \text{cm}$
- ・破壊耐電圧：23kV/mm (IEC60243)
- ・粘度（液体状態）：1000mPa・s(23℃)
- ・60日間冠水（絶縁抵抗 2000M Ω 以上【DC 500Vメガー】、耐電圧 AC 1500V・1分間に耐える）
- ・傾斜燃焼：1秒で自消（JIS C 3005 4.26 難燃に準拠）

□ 使用方法

- ・A液、B液の2液（比率 1：1）をキット付属のカップで混合後、流し込むだけ！※²
- ・作業可能時間：約15分（気温23℃）
- ・ポットライフ※³：約15分

※¹ 1気圧（水深10m）1時間で異常なし。

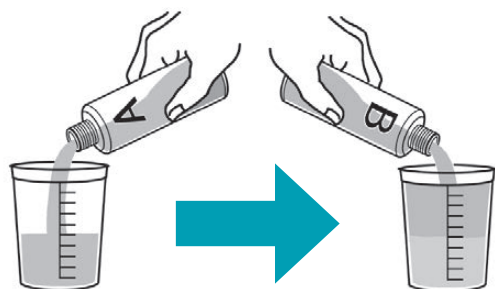
※² 混合液を流し込む部分に隙間がある場合には、流し込む前に液が流出しないように市販のパテ類などで隙間を埋めてください。

※³ ポットライフ：半固化し、流動性が多少残るが注入作業ができない状態。



パワージェル作業手順

1



使用する総量の 1/2 量の **A 液** を混合用カップに入れます。
さらに A 液と同量の **B 液** をカップに加えます。
【混合比率 A 液 : B 液 = 1 : 1】

□ 本製品は一度で全量使いきりをお勧めします。
□ 攪拌用カップの目盛りは、全量の目安です。全量を使いきらない場合は、**A 液と B 液のボトルの残量が同じになるように調整してください。**

2



A 液と B 液を付属の攪拌棒で 30 秒間よく混合します。カップの内面に付着した液もこするように攪拌棒で混ぜ、混ぜ残しがないようにしてください。またこの時にできるだけ気泡を巻き込まないように混合してください。

※ 混合が不十分な場合はゼリー化しません。

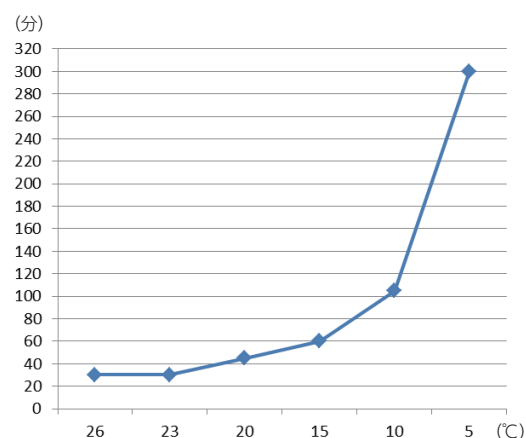
3



15 分以内に注入部に混合液を注入してください。
ポットライフ 15 分、約 30 分～1 時間でゼリー化※4 します。（気温約 23℃ の場合）

※ 気温 0℃ 以下ではゼリー化しません。

パワージェルのゼリー化所要時間と温度

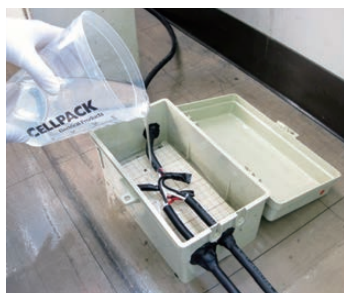


※4 ゼリー化：固形化した状態。手で触っても液体が付着しない状態。

基本性能

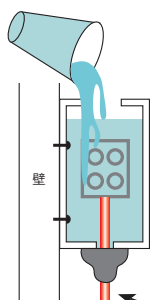
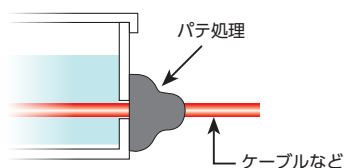
項目	測定値	試験方法または条件
比重	0.97	—
混合比	1 : 1	—
色（混合後）	混合直後は透明、経年と共に黄褐色透明	目視による
粘度	1000mPa・s	23℃ ISO3219
破壊耐電圧	23kV/mm	IEC60243
体積固有抵抗	$1 \times 10^{16} \Omega \cdot \text{cm}$	IEC60093
ポットライフ	約 15 分	23℃
硬化時発熱温度	70℃以下	23℃（容量 200cc）
冠水性試験		常温水に 60 日間浸漬した後、各試験を行う
	2000M Ω 以上	導体間の絶縁抵抗：DC 500V メガーで 1000 M Ω 以上
	2000M Ω 以上 異常なし	導体対地間の絶縁抵抗：DC 500V メガーで 1000M Ω 以上 耐電圧：AC 1500V・1 分に耐えること
難燃性	1 秒で自消	傾斜燃焼試験 JIS C 3005 4.26 難燃に準拠

ご参考…施工に一工夫！



水平施工

ボックスにケーブル貫通口がある場合はケーブルとの隙間をパテで埋めてジェル（ポットライフ約15分）の流出を防ぐ。ゼリー化の後、ボックスの蓋を閉める。



垂直施工

ボックスの上部に注入口を空けてジェルを流し込む。ボックスにケーブル貫通口がある場合はケーブルとの隙間をパテで埋め、ジェル（ポットライフ約15分）の流出を防ぐ。ゼリー化の後、パテなどで注入口を塞ぐ。

キット内容 (1 セット)	型番	サイズ	
レジン (A 液・B 液) 混合用カップ×1 個 攪拌棒×1 本 取扱注意事項×1 枚	FPG400	400ml	
	FPG1000	1000ml	

取扱注意事項・禁止事項

1) 本製品は、作業説明書の通りにレジン液を攪拌しない場合はゼリー化しません。2) 本製品は、気温 0℃以下ではゼリー化しません。3) 気温 14℃以下で使用する場合は、レジンボトルを 20℃～23℃に加熱してください。ただし、ボトルを直接炎であぶらないでください。4) ご使用に際しては、事前に使用目的への適合性を必ずご確認ください。5) 本製品は、特性上経年により黄褐色に変色します。6) 取り扱いの際は、換気を十分に行ってください。7) 取り扱いの際はレジン液が直接付着しないようにゴム手袋、保護メガネ等を付けて身体を保護してください。衣服に付着した場合は直ちに着替えてください。8) 手等にレジン液が付着した場合は、直ちに石鹸と水で洗い流してください。9) 本製品が漏れたりまたはこぼれた部分は滑りやすくなる危険があります。汚れた部分は脱脂剤等で清掃してください。10) レジン液を拭き取ったウエス等は自治体のルールに従って廃棄してください。11) 使用後のボトルは、中にレジン液が残らないよう清掃した後、プラスチック（ポリエチレン）ゴミとして自治体のルールに従って廃棄してください。尚、廃棄するレジン液は乾いたウエス等で拭き取り、液体のまま下水等に流さないでください。本製品は液体の状態ですと水素が発生する可能性があります。12) 使用途中の本製品を保管する場合は、ボトルの蓋を確実に閉めてください。13) 子どもの手の届かないところに保管してください。14) 保管の際は高温多湿、直射日光を避け、涼しい屋内で保管してください。15) ゼリー化した本製品（シリコン）を廃棄する場合は、自治体のルールに従って廃棄してください。16) 当製品は電気機器用設備における防水・防湿・防塵以外の目的に使用しないでください。17) 万一、目に入った場合は直ちに大量の水で 15 分間洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。18) 本製品を飲み込まないでください。飲み込んだ場合は吐き出してから横に寝かせてください。吐き出さない場合は、大量の水を少しずつ飲ませ、必要に応じて医師の診断を受けてください。19) 開封後のボトル内の残留レジン液から危険な量の水素が発生する可能性がありますので本製品には火気を近づけないでください。20) 本製品は、アルカリ、アミン、アンモニア、アルコール、酸化剤、酸と一緒に保管しないでください。21) ゼリー化後に解体された本製品は再使用しないでください。22) スイッチ、リレー等のアクティブ機器に本製品が直接触れないようにご使用ください。23) 資料等に記載された内容は仕様変更等のために断りなく変更することがあります。

古河電工産業電線株式会社 <https://www.feic.co.jp/>

東京営業部	〒105-8630	東京都港区新橋4丁目21番3号 新橋東急ビル14F 古河産業(株)内	TEL. (03) 5405-3621	FAX. (03) 5405-7579
関西営業部	〒530-0001	大阪市北区梅田2丁目2番22号 ハービスENT オフィスタワー 古河産業(株)内	TEL. (06) 6346-2956	FAX. (06) 6346-2959
中部営業部	〒450-6643	名古屋市中村区名駅1丁目1番3号 JRゲートタワー 43F 古河産業(株)内	TEL. (052) 414-5760	FAX. (052) 414-5268
九州営業部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号 日本生命博多駅前ビル3F 古河産業(株)内	TEL. (092) 483-5637	FAX. (092) 483-5610
【技術お問い合わせ先】				
平塚工場	〒254-0016	平塚市東八幡5丁目1番9号 技術部	TEL. (0463) 21-8289	FAX. (0463) 21-8292

古河電工パワーシステムズ株式会社 <https://www.feps.co.jp/>

本社	〒225-0012	横浜市青葉区あざみ野南2丁目11番16号	TEL. (045) 910-2813	FAX. (045) 530-5811
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1丁目1番20号 (花京院スクエア4階)	TEL. (022) 716-3185	FAX. (022) 265-3105
中部支社	〒460-0008	名古屋市中区栄四丁目2番29号 (名古屋広小路プレイス7階)	TEL. (052) 269-5077	FAX. (052) 269-5070
関西支社	〒530-0043	大阪市北区天満4丁目8番19号	TEL. (06) 6353-2551	FAX. (06) 6352-7325
九州支社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号 (日本生命博多駅前ビル3階)	TEL. (092) 482-2256	FAX. (092) 482-2257

建設・電材部門のご用命は

古河エレコム株式会社 <https://www.f-elecom.com/>

本 社	〒101-0047	東京都千代田区内神田2丁目16番8号 (古河電工神田ビル)				
		第一営業部			TEL. (03) 5297-8778	FAX. (03) 5297-8606
		第二営業部			TEL. (03) 5297-8696	FAX. (03) 5297-8705
関 西 支 社	TEL. (06) 6346-4173	北 海 道 支 店	TEL. (011) 251-5991	中 国 支 店	TEL. (082) 246-0881	
中 部 支 社	TEL. (052) 414-6141	北 関 東 支 店	TEL. (028) 624-6894	沖 縄 支 店	TEL. (098) 863-2226	
九 州 支 社	TEL. (092) 483-5561	静 岡 支 店	TEL. (054) 652-5070			
東 北 支 社	TEL. (022) 267-0771	北 信 越 支 店	TEL. (076) 431-0863			